

NTN(株)宝塚製作所跡地利活用基本構想に係る市民ワークショップ等について

1 市民ワークショップの開催

- (1) 第1回 (平成25年10月23日(水) 19~21時 @男女共同参画センター 12人参加)
- (2) 第2回 (平成25年11月8日(金) 19~21時 @男女共同参画センター 8人参加)
- (3) 第3回 (平成25年11月28日(木) 19~21時 @男女共同参画センター 7人参加)
- (4) 第4回 (平成25年12月17日(火) 19~21時 @男女共同参画センター 8人参加)

2 基本構想意見交換会の開催

- (1) 第1回 (平成26年2月24日(月) 18~20時 @男女共同参画センター 6人参加)
- (2) 第2回 (平成26年3月24日(月) 18~20時 @男女共同参画センター 6人参加)

3 主な意見と市の考え方

	市民ワークショップ参加者からの意見	市の考え方
進め方について	(1) NTN(株)宝塚製作所跡地利活用基本構想策定業務委託仕様書に、上下水道局の移転等、活用の方針が記されている。ワークショップの位置付はどのようなものか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの実施にあたり、市として一定の土地利用方針をもっている。その方針は、ワークショップに先立ち、参加者に伝える必要があると考えており、そのうえでワークショップを進めていきたい。
	(2) 宝塚市は平成24年度に協働の指針を作成した。行政は、市民が中心となって施策を一緒に進めていくという姿勢が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような大規模な土地利用構想を市民とのワークショップで進めていくことは、市として初めての試みである。 ・引き続き、市民からご意見をいただきながら、事業を推進していきたい。
	(3) 今回のような大きな構想を取りまとめるためには、最低1年はかかると思う。期間が短過ぎないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を着実に執行していくためには、本年度内に基本構想をまとめる必要があると認識している。十分な期間ではないが、充実したワークショップにしたい。
	(4) 基本構想策定後も基本計画・基本設計を作成していくために、市民検討委員会を設置し、参加意欲の高い市民を最大限に活用してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに参加いただいた人も含め、これからも市民の力を活用していきたい。 ・今後は、基本設計策定において、より具体的に専門性の高い検討に入ることから、各分野における専門家や民間企業のノウハウを最大限に活用していくことが大切と認識している。
基本構想について	(5) 上下水道局庁舎をNTN(株)宝塚製作所跡地に移転すべきではない。アピア等の商業ビルの空き床に移転する等、既存ストックの有効活用の観点から、判断すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局庁舎の配置は、市役所に近接することによるメリットや交通動線、建設コスト等、総合的な視点で検討を進めた。 ・駅前商業ビルへの移転は困難と考える。 ・基本構想はあくまでも大まかなゾーニングを示すことで、土地活用のイメージ示したものである。川沿いが妥当かどうかも含め、今後、具体的な配置を検討していく必要があると認識している。